

▶2004年度行動計画目標などの達成状況

【紙資源節減】

純正パルプ全使用量の98.8%を占める電話帳において、発行部数の更なる適正化による紙資源の節減と古紙配合技術の向上（古紙配合率2003年度実績64.1%→2004年度実績65.5%）に努めるなど、全体量を対前年度6%削減するとともに2010年度目標値についても大幅にクリアしています。継続的な施策推進により純正パルプ全使用量の大部分を占める電話帳の古紙配合率は技術的限界に来ており、また事務用紙についても再生紙100%の用紙購入が定着したことなどから、今後は管理項目として現状を維持する活動に努める予定です。

【温暖化対策】

自社IP関連設備や義務的コロケーション設備及びハウジングサービスに伴う設備の増加により電力使用量が増加。電力使用におけるCO₂排出量削減施策の推進により0.3億kWhの改善を図りましたが正味で電力使用量は0.7億kWh増加しました。

また、社用車の使用によるCO₂排出量についても、従来からの「アイドリングストップ運動」に加え、「エコドライブ運動」を新たに展開する

とともに、低燃費車両の導入促進により削減に努めました。しかし、営業活動の進展、IP系サービスのセットアップ稼働の増加によりCO₂排出量は昨年度より増加しました。

NTT西日本グループはブロードバンド&ユビキタスサービスの実現のために、今後も通信設備の拡充を図ることから、CO₂排出量の増加が想定されるため、現在設定している温暖化防止目標の指標について、CO₂排出量の絶対量（総量）から契約数原単位（CO₂排出量/契約数）に変更し、通信設備等の効率的な展開を目指します。

【廃棄物削減】

撤去通信設備においては、NTTネオメイト地域会社における廃棄物処分会社への指導の徹底等により全支店ブロックにおいてリサイクル率が向上（98.2%→99.4%）し、最終廃棄量を削減するなど、全体量を対前年度24%削減しました。

行動計画 (2010年度目標)		実行管理項目	2010年度 目標値	1998年度 実績(注1)	1999年度 実績	2000年度 実績	2001年度 実績	2002年度 実績	2003年度 実績	2004年度 目標値	2004年度 実績	掲載 ページ
紙資源節減	純正パルプ 総使用量 1998年レベル 以下にする。	電話帳純正パルプ使用量	3.9	3.6	3.7	3.1	2.5	1.9	1.8	1.8	1.7	P23
		電報台紙純正パルプ使用量	0.044	0.053	0.0352	0.0302	0.0275	0.0248	0.0246	0.0238	0.0195	P25
		事務用紙純正パルプ使用量	0.047	0.0534	0.0672	0.0311	0.0017	0.017	0.0015	0	0.00005	P25
		合計(万t)	4.0	3.7	3.8	3.2	2.5	1.9	1.8	1.8	1.7	-
温暖化防止	CO ₂ 総排出量 1998年レベルの 70%以下にする。	電力使用によるCO ₂ 排出量	10	16.0	15.6	16.0	16.7	17.4	17.7	17.7	18.4	P27
		社用車からのCO ₂ 排出量	0.63	0.38	0.39	0.36	0.30	0.77	0.86	0.86	0.93	P27
		ガス・燃料消費によるCO ₂ 排出量	0.7	0.78	0.70	0.64	0.70	0.68	0.62	0.62	0.61	P28
		合計(万t-C)	11.0	17.2	16.7	17.0	17.7	18.9	19.2	19.2	19.9	-
廃棄物削減	産業廃棄物の 最終総廃棄量 1998年レベルの 50%以下にする。	撤去通信設備廃棄物廃棄量	0.5	1.3	1.3	1.1	1.0	0.2	0.16	0.16	0.07	P31
		土木工事産業廃棄物廃棄量	0.35	1.2	3.2	2.5	1.4	1.2	0.01	0.03	0.13	P34
		建築工事産業廃棄物廃棄量 再資源化率(%) (注2)	1.5 (80%)	3.5 (61%)	1.9 (70%)	1.9 (88%)	2.0 (89%)	1.2 (88%)	2.0 (89%)	- (90%)	1.4 (93%)	P35
		オフィス内産業廃棄物廃棄量	0.28	0.26	0.25	0.44	0.35	0.32	0.31	0.19	0.19	P35
		合計(万t)	2.6	6.3	6.7	5.9	4.8	2.9	2.5	-	1.8	-

(注1) 1998年度実績は推計値

(注2) 管理対象は再資源化率